

下水汚泥資源の肥料利用の拡大に向けた取組

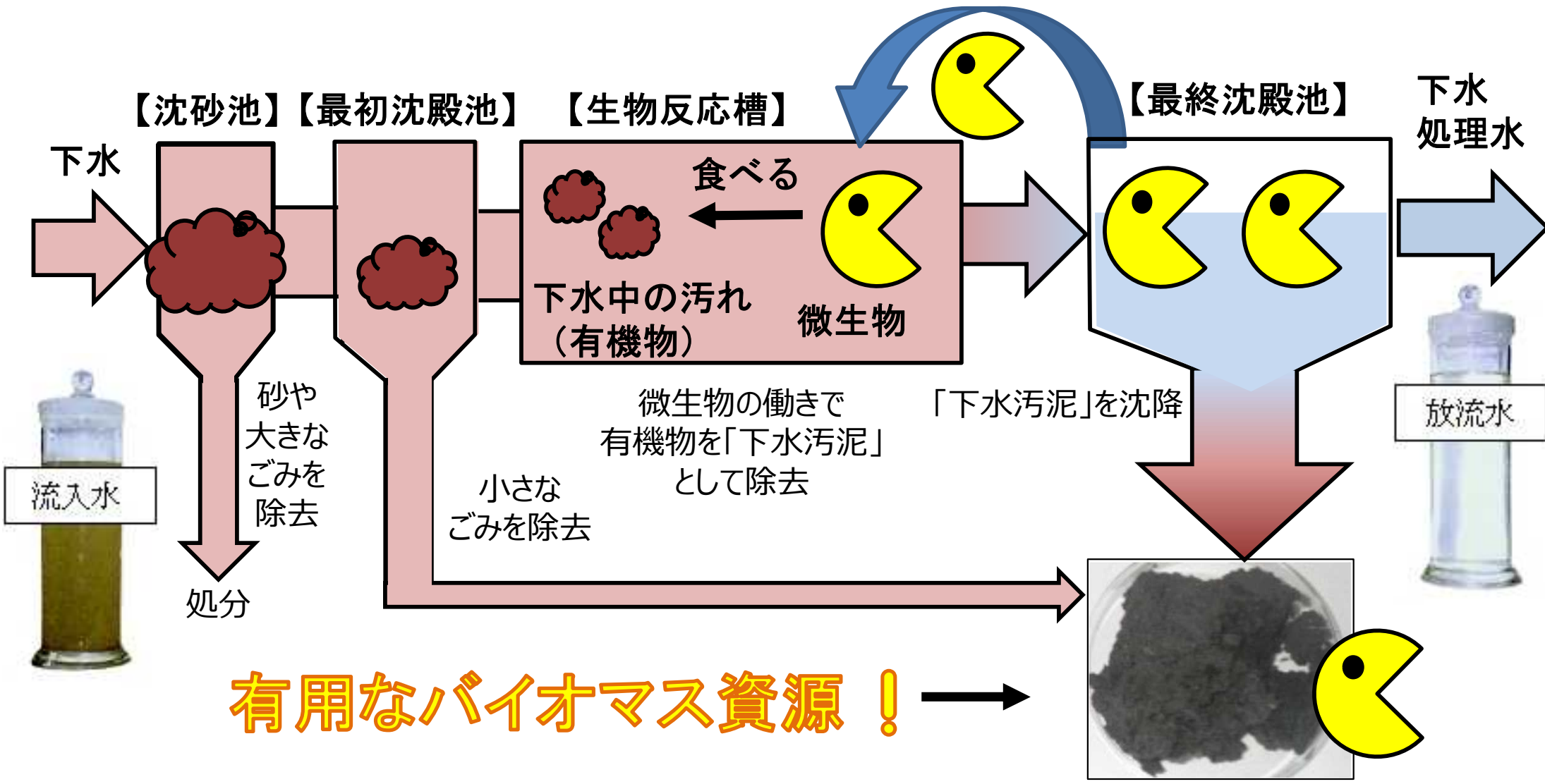
国土交通省 四国地方整備局

令和8年2月



下水汚泥とは

○ 全国約2200箇所の下水処理場から、微生物や有機物の塊である下水汚泥が年間約230万 t 発生（乾燥重量）。



下水汚泥の利用状況(令和5年度)

- 下水の処理過程で発生する下水汚泥は、バイオマスとして高いポテンシャルを保有。
- 輸入依存度の高い肥料原料の価格が高騰する中、**食料安全保障の強化、サーキュラーエコノミーへの移行等の観点から、農林水産省と緊密に連携し、国内資源である下水汚泥の肥料化を推進。**
- 令和5年度は下水汚泥の**約15%**が肥料として利用されている。

下水汚泥由来の肥料

汚泥コンポスト (供給量大)



回収リン



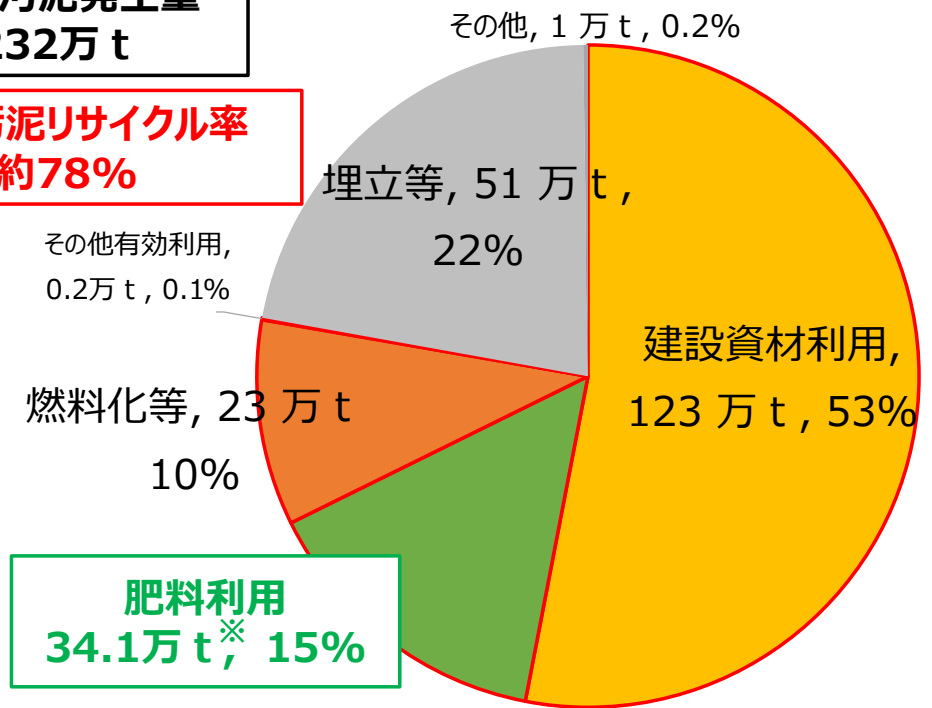
乾燥汚泥 (供給量大)



下水汚泥の利用状況 (令和5年度)

年間汚泥発生量
232万 t

下水汚泥リサイクル率
約78%



肥料利用
34.1万 t[※], 15%

他、脱水汚泥そのままや炭化汚泥、溶融した汚泥スラグも肥料利用されている。

※リン回収により肥料利用された汚泥は別途**1.7万 t**。
合計して**35.8万 t (全体の15.4%)**の汚泥が肥料利用されている状況。

下水汚泥資源の肥料利用の拡大に向けた関係者の役割と取組の方向性

取組の方向性

肥料の国産化と安定的な供給、資源循環型社会の構築を目指し、農林水産省、国土交通省、農業分野、下水道分野が連携し、安全性・品質を確保しつつ、消費者も含めた理解促進を図りながら、各関係者が主体的に、下水汚泥資源の肥料利用の大幅な拡大に向けて総力をあげて取り組む。

目標

2030年までに堆肥・下水汚泥資源の使用量を倍増し、肥料の使用量（リンベース）に占める国内資源の利用割合を40%へ（令和4年12月27日 食料安全保障強化政策大綱決定）

自治体（下水道事業者（下水道部局））

○安全安心かつ肥料製造業者や農業者のニーズに応じた品質の肥料原料の供給に取り組む。

- ◆ 下水汚泥資源を活用した肥料利用の検討・生産体制の確保
- ◆ 適切な重金属モニタリング、成分分析による安全・安心な汚泥資源の供給
- ◆ 定期的な検査状況等の情報公開など下水汚泥資源の透明性の向上
- ◆ 自治体の農政部局との連携

自治体（農政部局）

○地域特性に応じて、下水汚泥資源の肥料利用の拡大に取り組む。

- ◆ 農業者・JA等との連携による、地域や下水道の特性、肥料需要に応じた取組の推進
- ◆ 自治体の下水道部局との連携

消費者の理解促進

国

○関係者の取組支援、ネットワーク化等により下水汚泥資源を活用した肥料の需要・供給拡大に取り組む。

- ◆ 農業者や肥料製造業者が安心して活用できる下水汚泥資源の供給の促進
- ◆ 下水汚泥資源を活用した肥料に対する農業者・消費者への理解促進・PR手法の工夫
- ◆ 下水道事業者、肥料製造業者、農業者のマッチングによる流通経路の確保
- ◆ 試験栽培、栽培指導等による営農技術の確立と普及促進
- ◆ 肥料成分を保証可能な新たな公定規格の設定
- ◆ リン回収の採算性向上や生産量の確保に向けた技術開発

農業者・JA等

○地域特性に応じて、下水汚泥資源の肥料利用の拡大に取り組む。

- ◆ 自治体等との連携による、地域や下水道の特性、肥料需要に応じた取組の推進

肥料製造業者（メーカー）

○安全性・品質が確保された下水汚泥資源を原料として、農業者のニーズに応じた肥料の製造に取り組む。

- ◆ 農業者が使いやすい肥料の実用化
- ◆ 肥料製造設備の整備

成分分析支援事業及び案件形成支援事業

- 令和5年度から、下水汚泥の肥料利用の拡大や新たに肥料利用を検討する下水道管理者に対して、
(1) 汚泥の重金属や肥料成分の分析、(2) 肥料の流通確保に向けた案件形成を支援。
- (1) の支援対象として延べ**169処理場**、(2) の支援対象として延べ**37団体**を支援。
- 令和7年度は(1) で**49処理場**、(2) で**18団体**を支援中(令和7年6月18日公表)。

(1) 下水汚泥資源の肥料利用拡大に向けた重金属・肥料成分等の分析支援事業

分析対象

- ◆ 脱水汚泥、焼却灰等

分析項目

重金属：カドミウム、鉛、クロム、砒素、水銀、ニッケル
 肥料成分：窒素全量、りん酸全量、加里全量 等

分析回数

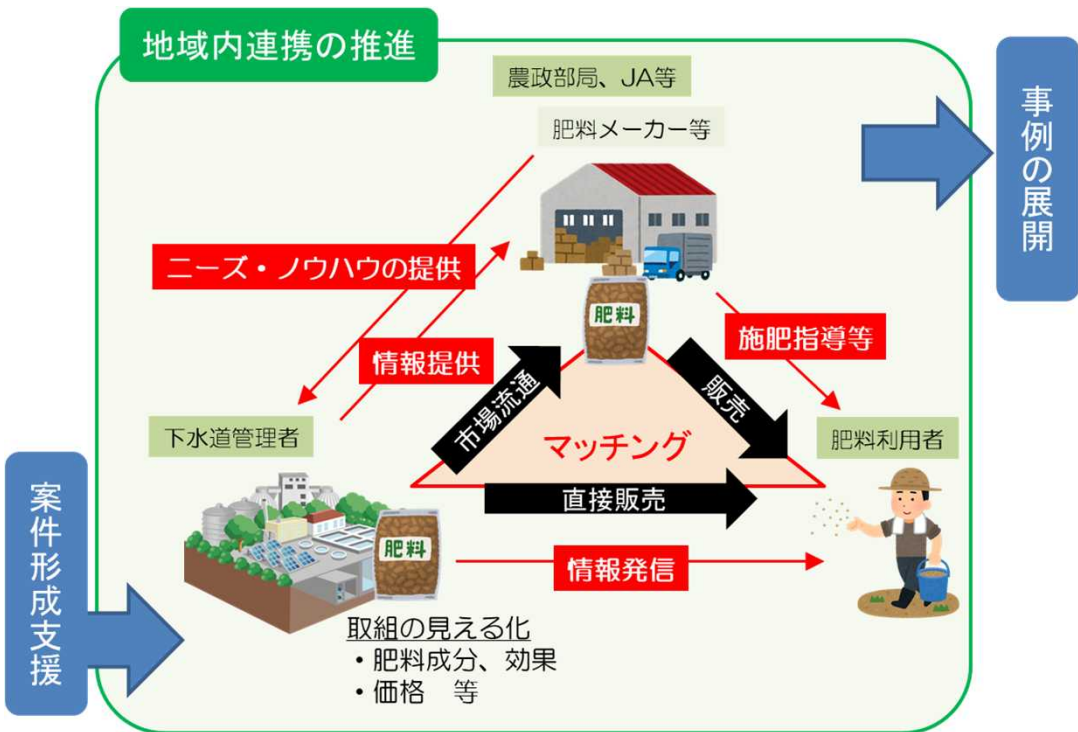
- ◆ 年4回程度(季節変動を考慮した分析を実施)

(2) 下水汚泥資源の肥料利用を促進するための大規模案件形成支援事業

支援内容

- ◆ 支援対象となる下水道管理者が持つ課題とニーズに応じ、協議の上、農林水産省とも連携しながら、必要な調査や会議等の開催を支援。

<案件形成支援のイメージ>



下水汚泥資源の肥料利用を促進するための大規模案件形成支援事業

- 公募によって選定した下水道管理者（令和5年度：20団体、令和6年度：19団体、令和7年度：18団体）に対して、肥料の流通経路の確保に向けた案件形成支援を実施。
- 支援団体が行った検討については、他の自治体が参考としやすいよう事例集の形式にとりまとめ、公表。
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000880.html

No.	R5年度	R6年度	R7年度
1	北海道 旭川市	北海道 旭川市	青森県 むつ市
2	秋田県	宮城県	宮城県
3	福島県 会津若松市	茨城県 北茨城市	茨城県 北茨城市
4	茨城県	群馬県 館林市	栃木県
5	埼玉県	千葉県 東金市	栃木県 宇都宮市
6	千葉県 木更津市	東京都 区部	千葉県 東金市
7	千葉県 千葉市	東京都 流域	神奈川県
8	東京都 区部	東京都 町田市	神奈川県 葉山町
9	東京都 流域	神奈川県 (相模川流域)	新潟県 佐渡市
10	神奈川県	神奈川県 (酒匂川流域)	長野県 小諸市
11	神奈川県 葉山町	新潟県 佐渡市	長野県 飯山市
12	新潟県 佐渡市	三重県	静岡県 富士市
13	京都府 宇治市	大阪府	静岡県 磐田市
14	兵庫県 神戸市	兵庫県 明石市	滋賀県
15	兵庫県 明石市	岡山県 勝央町	滋賀県 甲賀市
16	岡山県 勝央町	徳島県	大阪府
17	高知県	福岡県 北九州市	兵庫県 豊岡市
18	福岡県 北九州市	熊本県 山鹿市	大分県 大分市
19	佐賀県 鹿島市	熊本県 苓北町	
20	大分県 大分市		

■ : 単年支援
■ : 2年支援
■ : 3年支援

支援の流れ

下水道管理者が持つ課題とニーズに応じ、流通経路の確保に向けた必要な調査や会議の開催を支援。

<検討イメージ(例)> 採択

初回協議・基礎調査

- 関係部局における下水汚泥の利用に関する方針・計画の確認
- 農政部局、農業関係者等へのヒアリングおよび関係者協議

第1回 全体会議

第2・3回会議

- 下水汚泥の肥料利用に関する方針、需要等調査結果の共有
- JA等、農業サイドの関係者も交えた意見交換等
- 今後の取組、スケジュールの整理、ロードマップ案の作成

第2回 全体会議

下水汚泥資源の肥料利用拡大に向けた取組を実施



農政部局等との関係者協議



肥料利用者を招いた処理場見学

下水汚泥の成分分析支援団体一覧

● 国土交通省にて、公募により成分分析支援を行っており、令和5年度～7年度に支援を行った（行っている）団体は以下のとおり。

地方	都道府県	参加団体名	
北海道	北海道	旭川市 、恵庭市、函館市、深川市、 紋別市 、岩内町	
	青森県	青森県、 八戸市	
	岩手県	岩手県	
東北	秋田県	秋田県 、にかほ市、由利本荘市	
	宮城県	宮城県 、仙台市	
	福島県	福島県	
	茨城県	茨城県 、 北茨城市 、水戸市、守谷市	
関東	栃木県	栃木県 、 栃木県及び21市町 、足利市	
	群馬県	群馬県、 館林市	
	埼玉県	埼玉県 、秩父市	
	千葉県	千葉県 、 大網白里市 、市川市、 千葉市 、 東金市 、習志野市、船橋市	
	東京都	東京都 、 東京都区部 、 町田市	
	神奈川県	神奈川県 、 綾瀬市 、 川崎市 、逗子市、秦野市、横浜市、 鎌倉市 、 藤沢市 、 葉山町	
	長野県	長野県 、駒ヶ根市、 飯山市 、 小諸市	
	北陸	新潟県	新潟県 、 佐渡市 、十日町市
		富山県	高岡市
	中部	岐阜県	岐阜市 、瑞穂市、多治見市
静岡県		静岡市、袋井市、 磐田市 、 伊東市 、吉田町	
愛知県		名古屋市	
近畿	福井県	福井市	
	三重県	三重県	
	滋賀県	滋賀県 、 甲賀市	
	京都府	京都府 、 宇治市 、木津川市、京都市、舞鶴市	
	大阪府	大阪府 、河内長野市、豊中市、 吹田市	
	兵庫県	兵庫県、 明石市	
	奈良県	奈良県	

地方	都道府県	参加団体名
中国	鳥取県	琴浦町、 米子市
	島根県	島根県
	岡山県	勝央町 、玉野市
	広島県	広島県、 広島市
	山口県	宇部市 、下関市
四国	徳島県	徳島県
	香川県	香川県 、高松市
	愛媛県	新居浜市、西条市
	高知県	高知県 、四万十市
九州	福岡県	北九州市 、久留米市、豊前市
	大分県	大分市
	佐賀県	鹿島市
	長崎県	佐世保市
	熊本県	玉名市、 山鹿市 、 苓北町
	鹿児島県	枕崎市

R5・6・7年度 下水汚泥の重金属・肥料成分の成分分析調査概要		
種別	脱水汚泥等	燃焼灰
採取頻度	年4回程度	
分析方法	「肥料等試験法」〔※ 独立行政法人農林水産消費安全技術センター〕	
分析項目	肥料成分	□ 窒素全量(N)、□ リン酸全量(P ₂ O ₅)、 □ 加里全量(K ₂ O)、□ <溶性りん酸(P ₂ O ₅) ※R5年度は燃焼灰のみ分析
	重金属	□ 砒素(As)、□ カドミウム(Cd)、□ ニッケル(Ni)、 □ クロム(Cr)、□ 水銀(Hg)、□ 鉛(Pb)

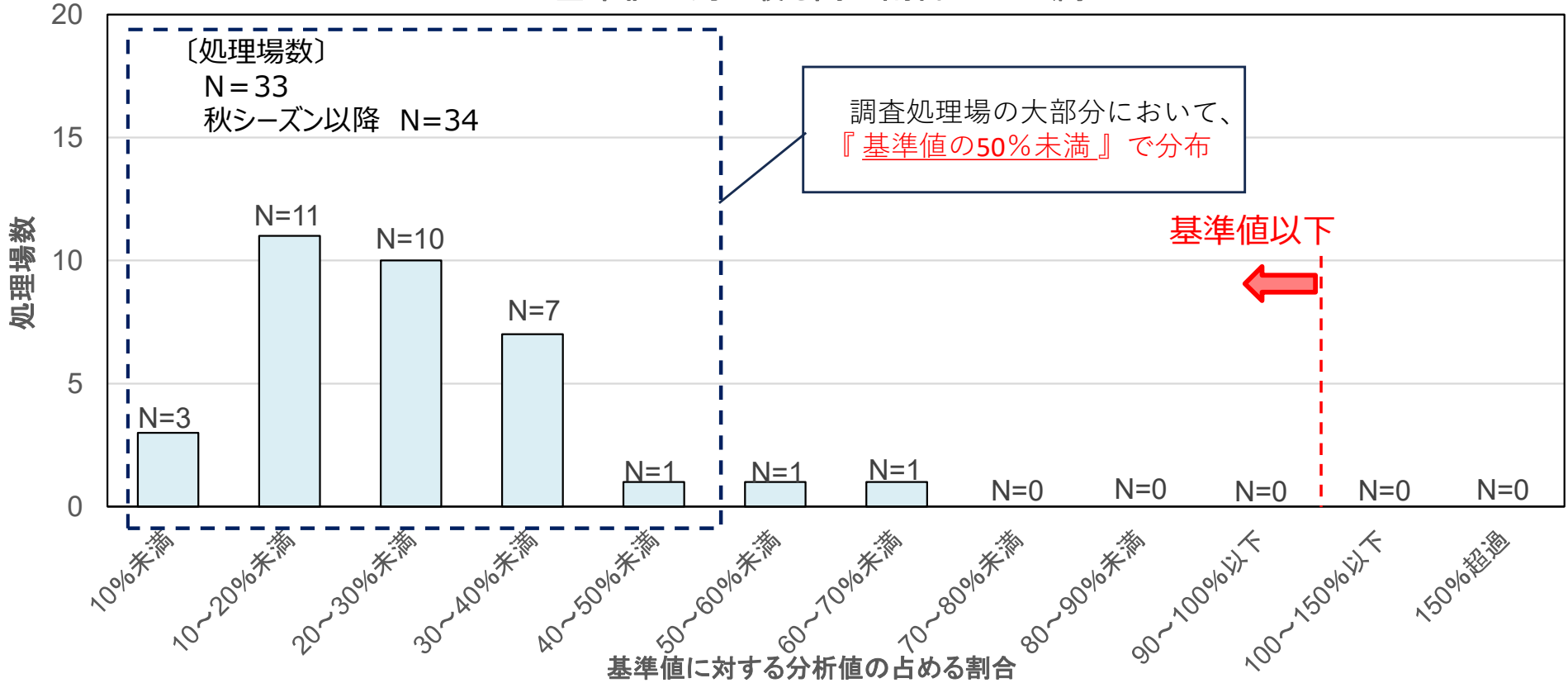
3年度累計(延べ):148団体(43都道府県、105市町村、169処理場)
 うち令和5年度: 83団体(21都道府県、62市町村、84処理場)
 うち令和6年度: 29団体(11都道府県、18市町村、36処理場)
 うち令和7年度: 36団体(11都道府県、25市町村、49処理場)

※太字下線は複数年度の分析支援団体
 ※は令和7年度分析支援団体、**赤字**は案件形成支援も実施。

令和6年度の分析結果: 重金属最大含有量(脱水汚泥等)

- 令和6年度事業により分析結果については、令和7年6月にHPで公表。
 (https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000882.html)
- 重金属については、全調査処理場のいずれの季節の分析においても、「肥料の品質の確保等に関する法律」に定める基準値以下であることを確認。

基準値に対し最も高い割合の重金属



調査処理場における季節別重金属最大含有量 (乾物当たり)

● 汚泥肥料中の有害成分(重金属)含有量の基準値 (肥料の品質の確保等に関する法律)

※ **基準値**: 「肥料の品質の確保等に関する法律」に定める含有を許される有害成分の最大量。
 ※ 上図が示す重金属含有量[%]については、FAMICの定める「肥料等試験法」により試料中の水分を同時に測定し、分析して得られた重金属含有量(現物値)を乾燥試料中の含有量に換算(乾物換算)している。
 換算式は以下のとおり。

$$\text{乾物当たりの分析値(\%)} = \text{試料の分析値(現物値)} \times 100 / [100 - \text{試料の水分含有率(\%)}]$$

 ※ 検体数については、春~夏シーズン33検体、秋~冬シーズン34検体の合計134検体。

有害成分項目	砒素	カドミウム	ニッケル	クロム	水銀	鉛
含有を許される有害成分の最大量 (%)	0.005	0.0005	0.03	0.05	0.0002	0.01
含有を許される有害成分の最大量 (mg/kg)	50	5	300	500	2	100

全国で広がる下水汚泥資源の肥料利用の取組 (1/2)

黄色マーカーが肥料名



秋田県
【コンポスト化】

「**横手処理センター**」
4市2町の汚泥を広域資源化
(令和7年4月より稼働開始)



旭川市【肥料の試作】
「**旭川市下水処理センター**」
令和7年度に施肥試験を実施する方針

青森県【コンポスト化】
「**岩木川浄化センター**」

汚泥焼却炉を肥料化施設へ更新
(令和8年度より運営開始予定)



既設の汚泥焼却棟

鶴岡市
【コンポスト化】 「**鶴岡浄化センター**」
設備更新により令和9年度より増産予定

気仙沼市【炭化物】
「**気仙沼終末処理場**」
令和5年度B-DASHにより施設整備 (令和6年3月 稼働開始)

埼玉県【焼灰】
「**荒川水循環センター**」
汚泥焼灰を肥料登録
【**荒川クマムシくん1号**】

生産過程	クマムシなどの微生物が汚れのもとを 食べることで下水を処理
	処理過程で発生した汚泥を焼却
	発生した焼灰を肥料として活用
特徴	りん酸全量で 16.0% の成分保証

※令和6年4月30日知事記者会見資料

新潟県
【乾燥汚泥】 「**新潟浄化センター**」
乾燥汚泥について、「菌体りん酸肥料」として登録 (令和7年3月)
【**越肥の輪にいがた**】

茨城県【コンポスト化】
「**さしまアクアステーション**」
令和6年度より肥料化施設の稼働を開始。

東京都【リン回収】
「**砂町水再生センター**」

令和4年度補正B-DASHにより施設整備 (令和6年1月稼働開始)
リン回収施設と回収リン



※東京都資料

横浜市【リン回収】
「**北部汚泥資源化センター**」

令和4年度補正B-DASHにより施設整備 (令和6年3月稼働開始)
【**よこはまMAP1号**】



再生リンPRロゴマーク「はま巡リン」
※横浜市資料

木更津市【コンポスト化】
「**木更津下水処理場**」
堆肥化施設整備事業公募中
(令和9年4月 運営開始予定)

全国で広がる下水汚泥資源の肥料利用の取組 (2/2)

黄色マーカーが肥料名

島根県【コンポスト化】
≪宍道湖西部浄化センター≫
 令和5年度B-DASHにより施設整備

京都府【乾燥汚泥】
≪洛南浄化センター≫
 乾燥汚泥について、近畿地方で初めて「菌体りん酸肥料」として登録（令和6年12月）
[洛南エコガーデン]

長野県【脱水汚泥】
≪アクアピア安曇野≫
 脱水汚泥を肥料登録。南安曇農業高校と連携して効果検証試験を実施中。
[アクアピア1号]
 ➢ 下水汚泥肥料化検討事業に係る協定の締結



福山市【リン回収】
≪松永浄化センター≫
 令和5年度補正B-DASHにより施設整備

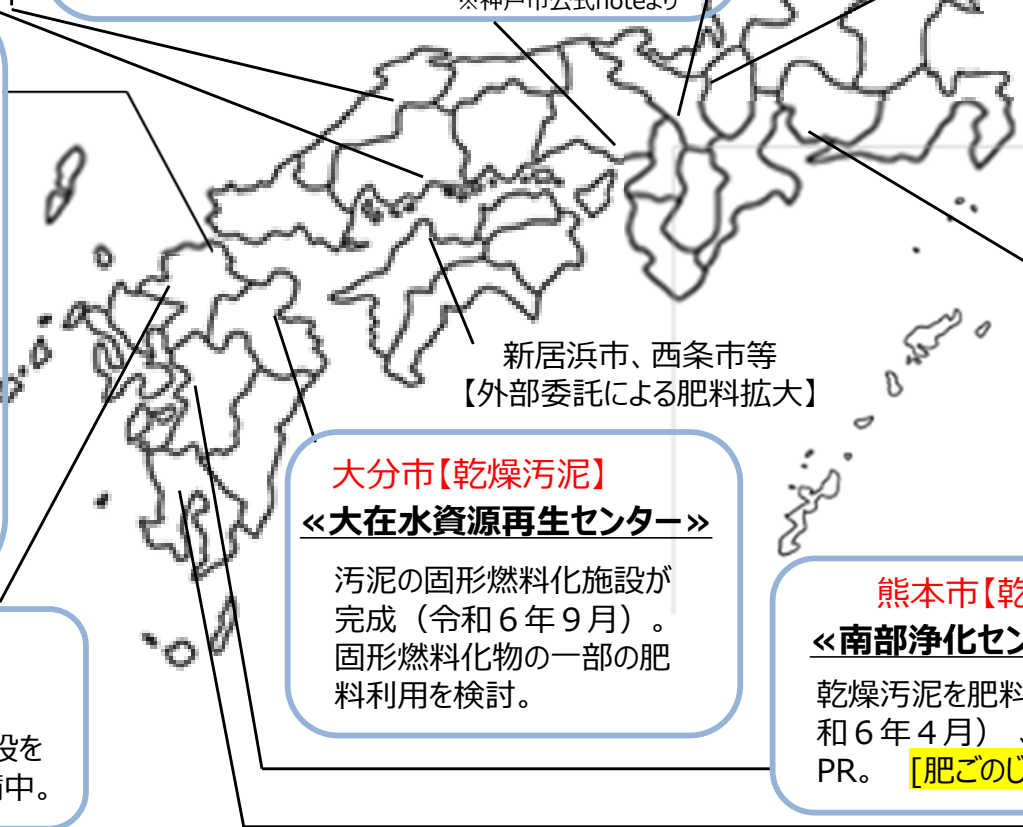
神戸市【リン回収】
≪玉津処理場≫
 神戸市2基目となるリン回収施設を令和4年度補正B-DASHにより整備。（令和7年4月稼働開始）
 玉津処理場リン回収設備 完成記念式
 ※神戸市公式noteより



滋賀県【コンポスト化】
≪高島浄化センター≫
 施設が完成し、令和6年6月より肥料の一般販売開始。
[おうみつ肥]



北九州市【乾燥汚泥等】
≪日明浄化センター≫
 固形燃料化物（乾燥汚泥）を菌体りん酸肥料に登録（令和6年9月）。
[OH! DAY! 北九州]
 また、脱水分離液中に含まれるリンを鉄鋼スラグを用いて回収する手法を検討中。



新居浜市、西条市等
 【外部委託による肥料拡大】

大分市【乾燥汚泥】
≪大在水資源再生センター≫
 汚泥の固形燃料化施設が完成（令和6年9月）。固形燃料化物の一部の肥料利用を検討。

名古屋市【乾燥汚泥】
≪空見スラッジリサイクルセンター≫
 固形燃料化物（乾燥汚泥）を全国で初めて菌体りん酸肥料に登録。（令和6年7月）
[循かん大なごん]



福岡市【リン回収】
≪西部水処理センター≫
 福岡市3基目となるリン回収施設を令和6年度B-DASHにより整備中。

熊本市【乾燥汚泥】
≪南部浄化センター≫
 乾燥汚泥を肥料登録し（令和6年4月）、庁内で利用。PR。
[肥ごのじゅんかん肥]

鹿児島市【コンポスト化】
≪下水汚泥堆肥化場≫
 菌体りん酸肥料に登録し、販売開始（令和6年11月）。
[マグマソイル]

下水汚泥資源の肥料化に向けた取組内容(岡山県勝央町)

- 勝央町が保有する既存の汚泥処理施設について、老朽化が進行しており、計画的な改築更新が必要な時期を迎えている。
- 下水汚泥を堆肥に優先すること、勝央町としても安定した価格・品質の肥料供給による農業支援への寄与を期待していることから、循環型社会の実現に向け、令和5年度から堆肥化に向けた検討に着手している。

これまでの実施内容

- 【R5】**
- ・同規模の処理場や処理形態の類似した堆肥化施設を視察し、設備を検討
 - ・下水汚泥堆肥の意向調査を実施し、町の農業に適した堆肥を検討
 - ・農業振興部局にて町の主要作物（黒大豆）を対象とした下水汚泥由来肥料を用いた施肥試験（試験栽培）を町内で実施

- 【R6】**
- ・同規模で肥料化方針が類似している堆肥化施設を視察し、設備他を検討
 - ・農業振興部局にて循環型農業推進・たい肥利用促進に関する調査業務を行い、**農業関係事業者を対象とした堆肥の利用意向調査（アンケート）**を行った。
 - ・農業振興部局にて町の主要作物（黒大豆）を対象とした下水汚泥由来肥料を用いた施肥試験（試験栽培）を町内で実施（2年目）
 - ・**利用意向調査の結果、一定の利用が見込めたため、勝央浄化センターの堆肥施設設置検討業務**を行った。

- 【R7】**
- ・勝央浄化センターの汚泥で試作肥料を作り、慣行栽培との比較を行うため栽培実証試験（水稻）を行い、穀物性質分析及び生育、収量調査を実施した。

【R8以降の予定】

- ・R8年：堆肥化施設の基本設計、試験栽培
- ・R9年：堆肥化施設の設計
- ・R10年：堆肥化施設の建設
- ・R11年：肥料登録【肥料利用開始予定】



栽培実証実験



○供試肥料成分表

肥料名	N		P	K	窒素肥効率
	速効性	緩効性			
慣行肥料	9.5%	15.5%	10%	10%	-
試作汚泥肥料	2.1%	-	1.65%	0.07%	50%
市販汚泥肥料	3.6%	0%	5.40%	0.90%	50%
硫安	21%	0%	0%	0%	-

○慣行肥料区

施用日	肥料名	施肥量	kg/10kg		
			N	P	K
6月20日	慣行肥料	35.0	8.8	3.5	3.5
8月28日	硫安	15.5	3.3	0.0	0.0
合計			12.0	3.5	3.5

○試作汚泥肥料区

施用日	肥料名	施肥量	kg/10kg		
			N	P	K
6月20日	試作汚泥肥料	190.0	2.0	3.1	0.1
8月28日	硫安	6.3	1.3	0.0	0.0
8月28日	硫安	15.5	3.3	0.0	0.0
8月28日	硫安	10.3	2.2	0.0	0.0
合計			8.7	3.1	0.1

玄米1000粒の外観品質

	整粒	乳白粒	基礎未熟粒	背腹白粒	青未熟粒	その他未熟粒	砕粒	その他被害粒	青死米	白死米	全面着色粒	部分着色粒	胴割粒	合計
慣行肥料	768	12	9	14	18	162	2	0	0	5	0	2	8	1000
試作汚泥肥料	756	37	9	20	21	144	3	3	0	5	0	1	1	1000
市販汚泥肥料	738	37	6	27	17	169	1	0	1	3	0	0	1	1000

比較栽培の結果

・穀物性質分析結果では、**味覚、成分、外観品質**について、それぞれの肥料区での**差はほぼなかった。**

下水汚泥肥料を入手可能な下水処理場について

- 下水汚泥肥料はホームセンター等を通じて各地で販売されており、直接配布または販売している下水処理場もある。
- 国土交通省WEBサイトには、下水汚泥肥料を入手可能な下水処理場の一覧を掲載。
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/gesui_hiryuu.html

下水汚泥肥料を入手可能な下水処理場一覧 ※公表資料から抜粋して掲載しています

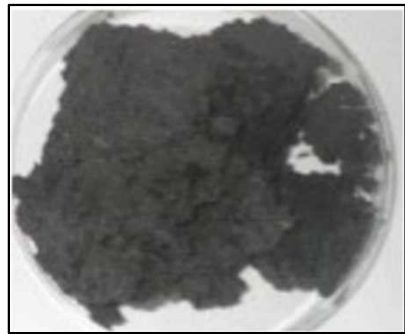
都道府県	事業者名	下水処理場名	肥料種別	登録した公定規格	登録番号	副資材等	含水率・肥料成分等	肥料形態等
三重県	志摩市	坂崎浄化センター	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	生第85991号	-	窒素4.9%、リン9.1%、加里0.18%、C/N比7.3	土状。多少の臭気有。
三重県	志摩市	的矢浄化センター	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	生第85991号	-	窒素5.3%、リン8.0%、加里0.28%、C/N比7.5	土状。多少の臭気有。
福井県	おおい町	名田庄東部浄化センター	乾燥汚泥	汚泥肥料	生第83868号	-	窒素4.0%、リン酸2.5%、加里0.5%未満、銅1200mg/kg、炭素窒素比8.3	さらさらした粒状
滋賀県	滋賀県	琵琶湖流域下水道高島浄化センター	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	生第108663号	無	含水率29.1%、窒素1.6%、リン4.0%、カリウム0.5%未満、C/N比9（登録）	粉体とペレット状の2種類、肥料の匂い
兵庫県	神戸市	東灘処理場	回収リン	その他	生第105693号	-	アンモニア性窒素4.0%、く溶性りん酸20%、く溶性苦土11.5%	粉末状
兵庫県	豊岡市	豊岡市浄化センター	乾燥汚泥	汚泥肥料	生第87041号	無	窒素全量3.9%、りん酸全量2.5%、カリウム全量0.2%、銅全量490mg/kg、炭素窒素比6（目安）	粘土状、特有の匂い
高知県	香南市	夜須浄化センター	乾燥汚泥	汚泥肥料	生第80996号	-	含水率10%、窒素6.5%、リン6.5%、カリウム0.5%（目安）	数cmの塊状で供給可能
佐賀県	佐賀市	佐賀市下水浄化センター	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	生第93240号	脱水汚泥：戻し堆肥：腐白土=1：2：0.05	含水率32%、窒素3.2%、りん酸4.6%、カリウム0.27%、C/N比3.6	粉状で供給可能、土のような匂い
佐賀県	白石町	エコパーク住ノ江	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	生第86183号	脱水汚泥：もみ殻：戻し堆肥=2：1：1	含水率8%、窒素6.85%、りん酸2.5%、カリウム0.46%、C/N比4.25	生堆肥としての供給
熊本県	山鹿市	山鹿浄水センター	乾燥汚泥	汚泥肥料	生第109549号	-	含水率20%、りん酸3.5%、加里0.22%、銅0.026%、石灰1.9%、亜鉛0.063%、全窒素4.5%、C/N比5.6（目安）	粒状で供給可能、土のような匂い
宮崎県	宮崎市	宮崎処理場	乾燥汚泥	汚泥肥料	生第80466号	副資材等無	含水率16.5%、窒素5.7%、リン4.7%、カリウム0.5%未満、C/N比6（令和5年度実績）	粒状（約0.5～5mm）により供給。乾燥肥料特有の臭気あり。
鹿児島県	鹿児島市	下水汚泥堆肥化場	コンポスト（堆肥）	汚泥肥料	生第80453号	無し	含水率24.6%、窒素3.2%、リン3.7%、カリウム0.2%、石灰6.5%、C/N比8	粉状で販売
鹿児島県	鹿児島市	下水汚泥堆肥化場	コンポスト（堆肥）	菌体りん酸肥料	鹿児島県肥第1367号	無し	保証成分量 窒素全量2.0% りん酸全量2.5%うち、く溶性りん酸2.0%（含水率・肥料成分等は上記汚泥肥料と同様です。）	粉状で販売
鹿児島県	日置市	伊集院終末処理場	乾燥汚泥	汚泥肥料	生第80465号	-	含水率15%、窒素5.0%、リン5.0%、カリウム0.2%、C/N比6（目安）	バラ
鹿児島県	奄美市	奄美市名瀬浄化センター	乾燥汚泥	汚泥肥料	生第81182号	無し	含水率16%、窒素5.66%、リン2.72%、カリウム0.17%、C/N比6.5	粒状で供給可能、土のような匂い
鹿児島県	奄美市	奄美市名瀬浄化センター	脱水汚泥	汚泥肥料	生第81181号	無し	含水率84.11%、窒素1.3%、リン1.05%、カリウム0.06%、C/N比5.4	粘土状で供給可能、土と軽微な汚泥の匂い
沖縄県	石垣市	石垣西浄化センター	脱水汚泥	汚泥肥料	生第85018号	-	含水率85%以下、窒素0.82%、リン0.47%、カリウム0.05%	粉状で供給可能、少々匂いあり
沖縄県	石垣市	川平浄化センター	脱水汚泥	汚泥肥料	生第93499号	-	含水率84.5%、窒素1.4%、リン0.774%、カリウム0.08%	粉状で供給可能、少々匂いあり
沖縄県	名護市	名護下水処理場	脱水汚泥	汚泥肥料	生第89105号	-	含水率86%、窒素1.1%、リン0.9%、加里0.5未満、炭素窒素比4（令和5年度分析平均値）	粘性が高い（スポンジ状）
沖縄県	本部町	本部町浄化センター	脱水汚泥	汚泥肥料	生第101298号	下水汚泥のみ	含水率75%、窒素1.5%、リン1.0%、カリウム0.04%、C/N比9（目安）	バラ（脱水汚泥）でのみ供給可能。汚泥臭あり。



汚泥コンポスト



乾燥汚泥



脱水汚泥

公園や緑地等における下水汚泥肥料の活用に向けたパンフレットの公表

- 脱炭素化、サーキュラーエコノミーへの移行を促進する観点から、下水汚泥肥料について、農作物の他に、花き類や芝など、多様な用途での利用拡大を図る。
- 特に、公園や緑地等における利用拡大に向けては、利用のきっかけになるパンフレットとして「**GARDEN 下水道-公園や緑地等における下水汚泥肥料の活用に向けて-**」を公表(令和7年4月)。
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_001004.html

◆ 下水汚泥肥料の種類、特徴等

下水汚泥が生産される過程や、下水汚泥肥料の形態、肥料成分、安全性、他の肥料と比較した際のコスト面でのメリット等について解説。

下水汚泥肥料



◆ 下水汚泥肥料の利用例

公園の花壇



法面の緑化

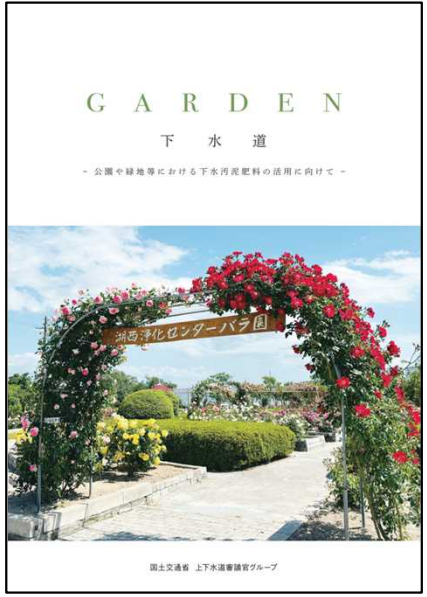


ゴルフ場



ひまわり畑





パンフレット-表紙



パンフレット-見開き全国マップ

◆ 下水汚泥肥料を使用したユーザーの声



汚泥肥料あり



汚泥肥料なし

近隣の浄化センターが無償で汚泥肥料を提供していると知ったことが利用のきっかけです。同じ条件下で肥料効果を比較したところ、汚泥肥料を施肥した花壇の方が花の生育が良くなりました。(公園の管理者から)

ビオラの生育状況の比較

ご静聴ありがとうございました。

